

## 丹波縄文の森塾 活動報告

令和7年12月20日(土) 曇



### もちつき



### 薪割り



### 焼き芋の準備



### しめ飾り



もちつき、薪割り、焼き芋、しめ飾り作りをおこないました。もちつきの杵(きね)と臼(うす)は、社会福祉法人恩鳥福祉会ポプラの家から借用。朝から蒸しておいた餅米を臼に入れ、サポーターに小突きをしてもらったあと、塾生でついていきました。ついたお餅をみんなで丸めて、あん餅、きなこ餅、おろし餅、みたらし餅ができました。



薪割り体験では、薪割り機を使いました。キンダリングクラッカー(キンクラ)という名前で、ニュージーランドの13歳の少女が考えたもの。斧での薪割りは、斧が重いのでかなりの力が必要ですが、キンクラは、ハンマーでたたきただけなので簡単です。薪がきれいに割れたときは、すっきりした気持ち良さがありました。



昼食は、大根、人参、白菜、油揚げ、豚肉のいっぱい入ったお味噌汁とつきたてのお餅。とってもおいしかったです。お餅に使った餅米は、5月にみんなで田植えをしたヤマフクモチ。9月に稲刈り、10月に脱穀した餅米でついたお餅。食べながら、これまでの活動を思い出しました。



午後はしめ飾り作り。藁(わら)でメガネの形に編んだしめ縄に、赤白の水引、ユズリハ、紙垂(しで)などを取り付けていきました。水引を作るのが一番むずかしく、試行錯誤しながら、やっと結ぶことができました。

午前中の薪割りの後、焼き芋づくりをしました。サポーターから提供していただいたサツマイモを洗い、ぬれた新聞紙とアルミホイルでくるみ、炭火で焼きました。焼き上がりまで、待ち遠しかったです。終わりの会が終わってから急いで焼き上がりを見に行き、お土産として持って帰りました。

